

## Leciono B43

## 従属接続詞 ke の種々の用法

**Estas evidente, ke li estas fama sciencisto.**

彼が有名な科学者なのは明らかです。

★ 従属接続詞 ke にはいろいろなはたらきがあります。ここでは代表的な使い方を説明します。(B10 課も参照のこと)

(1) 「ke で始まる文」(～ということ) が主語になる。

**Estas evidente, ke li estas fama sciencisto.**

彼が有名な科学者だということは明らかです。

**Estas strange, ke ĉiuj forgesis lian naskiĝtagon.**

みんなが彼の誕生日を忘れたとはおかしなことです。

\*この場合、「～である」にあたる補語の **evidente** や **strange** が 副詞になることに注意しましょう。この部分が主語の前に来ます。

(2) 「ke で始まる文」が、文中の名詞や **tio** の同格としてその名詞や **tio** の内容を説明する。

**Ni ofte aŭdas la kritikon, ke Esperanto ne estas komuna lingvo.**

私たちはしばしばエスペラントは共通語ではないという批判を聞くことがあります。

**Tio trankviligis min, ke ŝi ne vundiĝis.**

彼女にけががなかったことが私を安心させました。

(3) 「ke で始まる文」が無主語文の中身を表す。(無主語文は B35 課にもあります)

**Ŝajnas, ke ili geedziĝis.** 彼らは結婚したようです。

## 練習問題

1. ke li fariĝis ĉefo de la teamo が主語になる文を2つ作ってみましょう。

Estas \_\_\_\_\_, ke \_\_\_\_\_.

Estas \_\_\_\_\_, ke \_\_\_\_\_.

2. 次の日本語をエスペラント文に直しましょう。

(1) わたくしが間もなくあなたに会えることはうれしい(副詞)です。

Estas \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_.

(2) エスペラントは中立だという意見が彼は気に入りました。

Plaĉis al li la ideo, \_\_\_\_\_.

(3) s-ro Li が亡くなった事実は、多くの人を悲しませました。

Malĝojigis multajn homojn la fakto, \_\_\_\_\_.

(4) 彼は仕事で来月\*モンゴルに行くようです>(\*B24 参照)

Ŝajnas, \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ pro sia laboro.

.....  
 evidente 明らかな sciencisto 科学者 feliĉe 幸運な  
 strange おかしな kritiko 批判 komuna 共通の  
 trankviligi 安心させる vundiĝi けがする geedziĝi 結婚する  
 evidentigi 明らかになる ĉefo 長、ボス teamo チーム  
 ĝoja うれしい baldaŭ まもなく、やがて vidi 会う plaĉi 気に入る  
 ideo 意見、考え neŭtrala 中立な malĝojigi 悲しませる  
 fakto 事実 forpasi 亡くなる Mongolio モンゴル  
 ŝajni ~ように見受けられる fariĝi ~になる venonta 来たる